

# 貧酸素水塊速報 (2015年)

【発行】 ○ 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議  
 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会  
 【協力】 千葉県環境研究センター ○ 東京都環境局  
 第三管区海上保安本部 ○ (独)国立環境研究所  
 ○ モニタリングポスト(海上保安庁, 国土交通省 関東地方整備局)  
 (今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 平成27年6月15～16日観測結果

貧酸素水塊は内湾北部から中央部にかけて分布しています(図1)。  
 溶存酸素量2.5ml/L以下の水塊の規模は拡大しつつありますが、今のところ直近10年の平均を下回っています(図2, 3)。  
 水温は表層は20～25℃、底層は15～22℃です。  
 湾奥部を中心に内湾北部の広範囲で、海面が茶褐色を呈する濃い赤潮状態になっています。

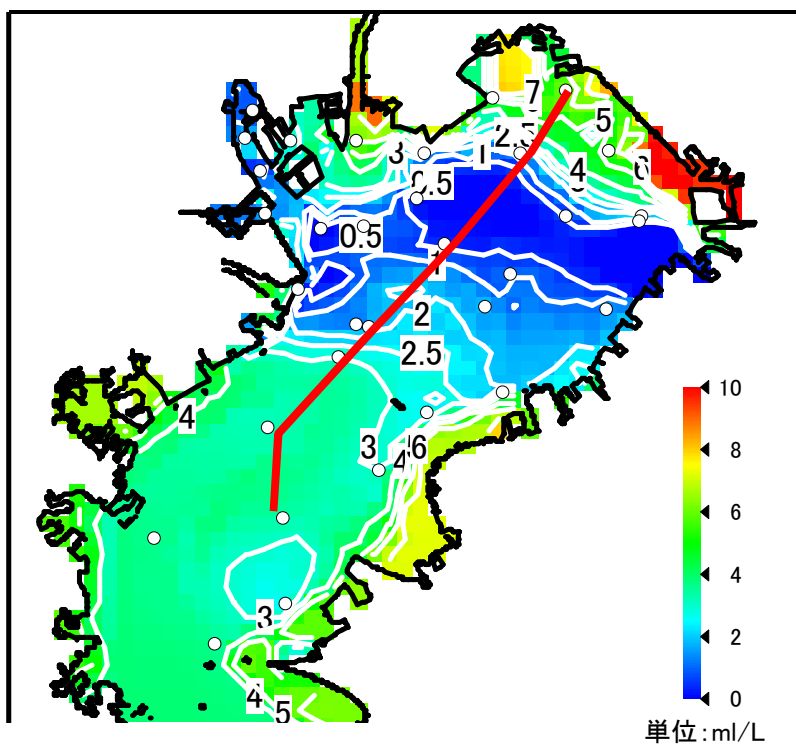


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

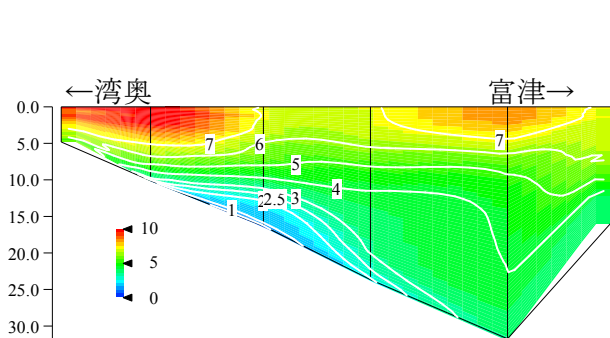


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

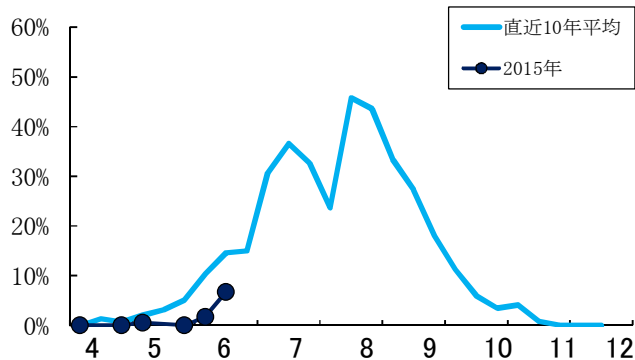


図3 貧酸素水塊の規模  
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)